

事業目的

私達の住んでいる地域社会では…
少子高齢化や核家族化、人口減少など社会環境の変化によって、市民の福祉ニーズは複雑化・多様化していて既存の社会保障・社会福祉制度だけでは対応が困難となり、地域の中での課題解決力を高めていくことが求められています。今後の高齢化の進行や貧困層の更なる増加に対応しうる仕組みづくりに取り組む必要があります。

那覇市内には466箇所の社会福祉施設が存在しています。小規模な法人を含め様々な法人格をもった福祉サービス提供施設が連携することで、一施設単独では発揮しにくい地域貢献につながる取組を推進していくものです。

地域貢献活動取組 参考例

- ① 様々なニーズに対応した分野横断的かつ包括的なワンストップ相談支援拠点の設置
- ② 現時点では自立している単身高齢者に対する見守り等その孤立死防止のための事業
- ③ 公的サービスの利用が出来ない者に対する軽度日常生活支援
- ④ 高齢者や障がい者、子ども、地域住民等の交流・学びの場づくり
- ⑤ 緊急一時的に支援が必要な者に対する宿所や食料の提供、資金の貸し付け
- ⑥ 貧困家庭の子どもに対する奨学金の貸与と、自立に向けた継続的な相談支援
- ⑦ 仕事と介護や子育ての両立に向けた支援
- ⑧ 地域課題を踏まえた障がい者等の職場づくり
- ⑨ 中山間地域等における移動困難者に対する移送支援
- ⑩ 高齢者や障がい者等に対する権利擁護支援
- ⑪ 災害時要配慮者に対する支援体制の構築 など

厚生労働省：
小規模法人のネットワーク化による協働推進事業実施要綱より参照

事業内容

- (1) 社会福祉施設など法人間連携のプラットフォームの設置
(参画法人はおおむね10 法人以上とする)
- (2) 複数法人の連携による地域貢献のための協働事業の立ち上げ
- (3) 福祉・介護人材の確保・定着のための取り組みの推進
(2)の事業の実施等により、既存職員に過重な負担が生じることをないようにするとともに、参画法人が相互に連携し、プラットフォーム内での必要な研修会の実施を通じて、地域の様々な福祉・生活課題に対応する職員の育成及び、福祉・介護人材の確保・定着のための取り組みを行います。
- (4) そのほか、地域の特性に応じた、市町村において必要と認められる取り組み
- (5) コミュニティソーシャルワーカー（CSW）の配置
モデル指定を受けた市町村社協は、当該事業を円滑に進めるためコミュニティソーシャルワーカー（CSW）を配置する。

参画法人について（法人間連携プラットフォームの設置）

首里地区	1	社会福祉法人 ゆうなの会	高齢
	2	社会福祉法人 若杉福祉会	保育・児童
	3	社会医療法人葦の会 オリブ山病院	障がい・高齢
	4	社会福祉法人偕生会 石嶺児童園指定管理	児童
	5	社会福祉法人 からし種の会	障がい
真和志地区	6	社会福祉法人 おきなわ共生会	高齢
	7	繫多川公民館（特定非営利活動法人 1 万人の井戸端会議）	地域福祉
	8	医療法人城南会	高齢
	9	社会福祉法人 沖縄中央福祉会彩風の杜なは	高齢・障がい
	10	社会福祉法人乙羽会 グリーンハウス国場	高齢
	11	日本赤十字社沖縄県支部	高齢
本庁地区	12	一般社団法人ハーネス	障がい
	13	社会福祉法人 そてつの会	障がい
	14	社会福祉法人 ポプラ福祉会	保育・児童
	15	社会福祉法人うるま福祉会	保育
	16	医療法人正清会 久田病院	障がい・高齢
	17	社会福祉法人 雅福祉会 みやび認定子ども園	保育・児童
	18	社会福祉法人 那覇市社会福祉協議会	地域福祉
地区小 区緑			
その他 参画機関 団体		那覇市福祉政策課・まちづくり協働推進課・教育委員会（行政） 沖縄県社会福祉協議会（社協）モデル市町村社協（西原町・今帰仁村）	

地域の社会福祉施設の声つばやきを実現へ

なは地域貢献

ちゅいしいじい（小規模法人ネットワーク化事業）



この事業は、厚生労働省社会・援護局長発の小規模法人のネットワーク化による協働推進事業実施要綱にもとづき、沖縄県が認めた実施主体団体として沖縄県社協・那覇市社協（西原町、今帰仁村社協）が実施するものです。

ご相談・お問い合わせ先

〒901-0155 那覇市金城 3-5-4（那覇市総合福祉センター内）

TEL 098-857-7766

FAX 098-857-6052

E-mail 1101tyui@nahasyakyo.org（担当／企画総務課 山城）

HP <http://www.nahasyakyo.org>



社会福祉法人 那覇市社会福祉協議会

地域における公益的な取り組みイメージ ちゅいしいじい (小規模法人ネットワーク事業)

県 域 県共通の課題に対する取り組み

サンクス運動、社会的孤立防止運動
食糧支援、子どもの貧困対策
南部・中部・北部・離島圏域の取り組み支援
(※南部広域の食糧支援)

市町村域 各市町村・地域の課題に対する取り組み



市全域のプラットフォーム調整役 社協 CSW

各法人 法人所在地の地域の課題に対する取り組み

- | | | |
|---------------------|----------------------|-------------------|
| A 法人(児童)
学習支援 | B 法人(医療)
福祉講話 | C 法人(障がい)
食料支援 |
| D 法人(高齢)
地域ホーム喫茶 | E 法人(児童)
独居高齢者見守り | F 法人(高齢)
買い物支援 |

取り組み案1 首里地区の取り組み 石嶺・大名・城北小学校区関係機関との連携

石嶺・大名小学校区まちづくり協議会・福祉部会と連携し、地域のニーズに合わせた取り組み

社会福祉施設の出来る地域課題解決の取組

- 見守り活動で孤立死防止
- 学校への福祉体験活動を充実
- 困りごとを相談しやすい拠点整備

大名地域

『専門性を活かした社会福祉施設が連携し地域の困りごとを吸い上げて社協と連携してみたい』(ゆうなの会)
『保育園でできることは子どもたちのパワーを与える居場所かな!』(若杉福祉会)

城北地域

『小中高校の施設体験実習、ボランティア活動等を受入れ交流深めたい』(からし種の会)

石嶺地域

『各福祉施設が連携して子ども達の未来を見据え福祉体験の場を提供』(葦の会)
『施設の専門性を地域で活かしたい』(偕生会 石嶺児童園)

地域の社会福祉施設の声
つばやきを実現へ

取り組み案2 本庁地区取り組み 古蔵・安謝・銘苅・壺屋・那覇・開南小学校区の各施設の連携

社会福祉施設の出来る地域課題解決の取組

- 現在浮き彫りになっている緊急課題である“生活困窮者へのフードドライブ(食料支援)”を入口とした『身近な相談窓口』の設置
- 自治会活動を支援し、コミュニティの活性化に努める
- 不登校支援を含めた福祉体験活動の実施

古蔵・神原地域

『地域の自治会・学校・福祉関係機関と連携した地域づくりを継続したい』(そてつの会)
『自治会設立に事務局で協力、かわら版、登下校の付き添いで地域の見守り』(ハーネス)
『老人センターとのふれあいを通してお年寄りを元気に子ども達へのやさしさ醸成』(ボブラ福祉会)

安謝・銘苅地域

『困っている母親が多い。地域でいつでも気軽に相談できる場所が必要』(雅福祉会)

壺屋・那覇地域

『子ども達だけで食事をしている子ども達の夜の居場所たまごやかんを実施』(うるま福祉会)
『看護学校目指す学生へ無料塾・看護師免許の取得を目指す人に国家試験無料学習支援を実施』(正清会)

取り組み案3 真和志地区の取り組み 識名・松川・与儀・仲井真・上間小学校区の各施設の連携

社会福祉施設の出来る地域課題解決の取組

- 繁多川公民館を軸に食料支援と『身近な相談窓口』を地域協働で実施
- 施設の厨房設備、人材、施設開放し、民生委員活動や自治会活動の支援の一助を担う
- 不登校支援を含めた福祉体験活動の実施

識名・松川地域

『繁多川シェアマーケットを真和志エリア全体に広げたい』(繁多川公民館)
『買い物困難者の買い物支援、地域お掃除隊で高校生・社会人の福祉体験』(城南会)
『保育園の子ども達と重度の利用者の交流』(おきなわ共生会)
『地域とつながる活動をしたい、地域の方へおせち料理を提供出来たら』(沖縄中央福祉会)

上間・仲井真地域

『国際中医薬膳師による薬膳料理を提供し、外国籍の職員の受け入れ行う』(乙羽会)

与儀地域

『救急法講習、防災に関する講習などの計画有ればご連絡ください』(日本赤十字沖縄県支部)

那覇市の地域福祉の共通課題 社会福祉施設全体の取組目標図

身近な相談窓口(気軽に立ち寄れる拠り所)と食料支援の一体化

